

校訓
強く正しく美しく

学校教育目標 ふるさととつながり、仲間とともに“在りたい未来”を創造する広谷っ子の育成

学校経営スローガン “よろこび”を生み出す学校 ～明日がもっと楽しみになる場所～

「じりつ」のよろこび

- ・「だんだんできるようになる」「わかるようになる」よろこび
- ・自分をコントロールできるよろこび
- ・やりぬくよろこび

「協働」のよろこび

- ・仲間や他人と力を合わせるよろこび
- ・人につながるよろこび

「貢献」のよろこび

- ・人によろこんでもらうよろこび
- ・社会の役にたつよろこび

「尊重」のよろこび

- ・人を大切に思い、人から大切にされていると感じるよろこび

「創造」のよろこび

- ・自らの手で、新たなものを創り出すよろこび

めざす児童像		
知	徳	体
学ぶことのよろこびを知り、自ら学び続けようとする子	「がんばること」をよしとし、共に生きるよろこびを感じる子	元気な体と元気な心の大切さを知り、健康に生きようとする子

めざす教職員像	
・子どもへの愛情と教育への情熱にあふれた教職員	
・子どもの“のびしろ”を信じ、ともに学び続けようとする教職員	
・協働し、尊重し、高め合う教職員	

予測困難な時代を生き抜く力を育む教育の推進

生活に生きる書写学習

- ・「文字を大切にし、楽しんで取り組む授業づくり」の推進（書写教育の研究推進）

協働的な学びを生み出す授業づくり

- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現と個別最適な学びと協働的な学びの一体化をめざした授業改善

新たな課題に対応した人権教育の推進

- ・人権尊重の精神、規範意識の醸成
- ・不合理に気付き、解決しようとする児童の育成

体幹を鍛え、心を磨く

- ・エクササイズ、リズムジャンプ、目の体操継続。体幹を鍛え、姿勢を良くし、集中力や根気強さを高める

見る・きく・ふれる「ひ・ろ・た・に」力

- ・やぶ・ふるさとキャリア教育の推進
- ・「人につながる、論理的に考える、探究する、担う」力の育成

誰一人取り残さない教育の構築

- ・特別な支援を必要とする児童への対応力向上
- ・授業のUD化に向けた特別支援教育研修の実施

「確かな学力」の育成	「豊かな心」の育成	「健やかな体」の育成	「ふるさと意識」の醸成	特別支援教育の充実	生徒指導の充実
■ 学びに向かう力の育成と学力の向上	■ 安心して学び、高め合う学級経営の推進	■ 運動が好きな子を育成する計画な体づくり 体幹・体力向上	■ 地域に学ぶ教育活動の推進	■ 支援方針の共通理解と共通実践、支援体制の構築	■ 人間的なふれあいを通し心の絆を深める生徒指導
■ 1人1台タブレットの効果的活用	■ 「考え、議論する道徳」の実現	■ 食育、睡眠指導など、心と体の健康を推進する教育の充実	・地域の環境、人、文化・産業、町並み	■ 個別の支援計画、個別の指導計画に基づく着実な指導	・生活指導委員会の定期開催
■ 学習規律と学習習慣の確立	■ “つながり”“うるおい”“自治”を生み出す特別活動の推進	■ 地域の防災特性を知り、危機を予見する防災教育の推進	■ 歴史・文化、畑の先生	■ 関係機関との更なる連携の推進と活用	・メディアルールの徹底
■ チャレンジタイムの系統的取組	■ 異年齢交流の促進		■ 広谷校区の良さの発信、未来への提言をゴールに見据えた総合学習		■ いじめ・不登校への組織的対応
■ 外国語教育の充実	■ のくさ賞等、認められる場、活躍できる場の創出		■ 兵庫型「体験教育」の充実		■ 明るいあいさつの推進
■ 読書活動の充実					
■ 表現力の育成					

「コミュニティ・スクール広谷」 学びを支える環境の充実

主体的に資質向上を図る教職員の育成

- ・教員個々のキャリアステージや持ち味、分掌等に応じ、得意分野を開拓する「1人1テーマ」研修

ICTを活用した業務改善

- ・共同学校事務加配の効果的活用

地域人材と地域素材の積極的活用

- ・学校への理解と協力を生み出す情報提供と計画的発信
- ・指導計画における地域活用の位置付け

学校間連携の強化

- ・園との交流促進
- ・近隣小学校との交流促進

教職員の資質向上	家庭・地域との連携・協働	小中一貫教育と園小連携の推進
■ 活力ある職員集団の構築	■ 地域からの協力と、地域への貢献の互恵的なつながりを生み出す	■ 9年間の学びの連続性を意識した「養父校区一貫教育」の効果的な展開
■ 講師招聘と「研究授業」を足がかりとした研修の充実	＊「つくりもの」の復活、栽培野菜の販売、地域のPR	・養父校区における教育目標及び児童生徒像の共有化
■ 安心・安全な環境づくり	■ 地域で豊かに過ごす第4水曜日「スーパーそうあんの日」の啓発	■ 「連続性」、「互恵性」のあることも園・高校との校種間連携の推進
・危機を未然に防止するための資質向上と組織としての対応力向上。	・スーパーそうあんのクラブの拡充・充実	■ スタートアッププログラムの効果的活用
■ 勤務時間の適正化・組織を変える業務改善	■ PTAとの協働	
・週時程、校時表の見直し	・自分で決めて、良いと思うことどんどんする「そうあんの日」	
	・「ねるねるウィーク」「家庭学習の取組」の啓発	